

作物統計調査 令和5年産水稲の8月15日現在における作柄概況

「やや良」が5道県、「平年並み」が34都府県、
「やや不良」が7県の見込み

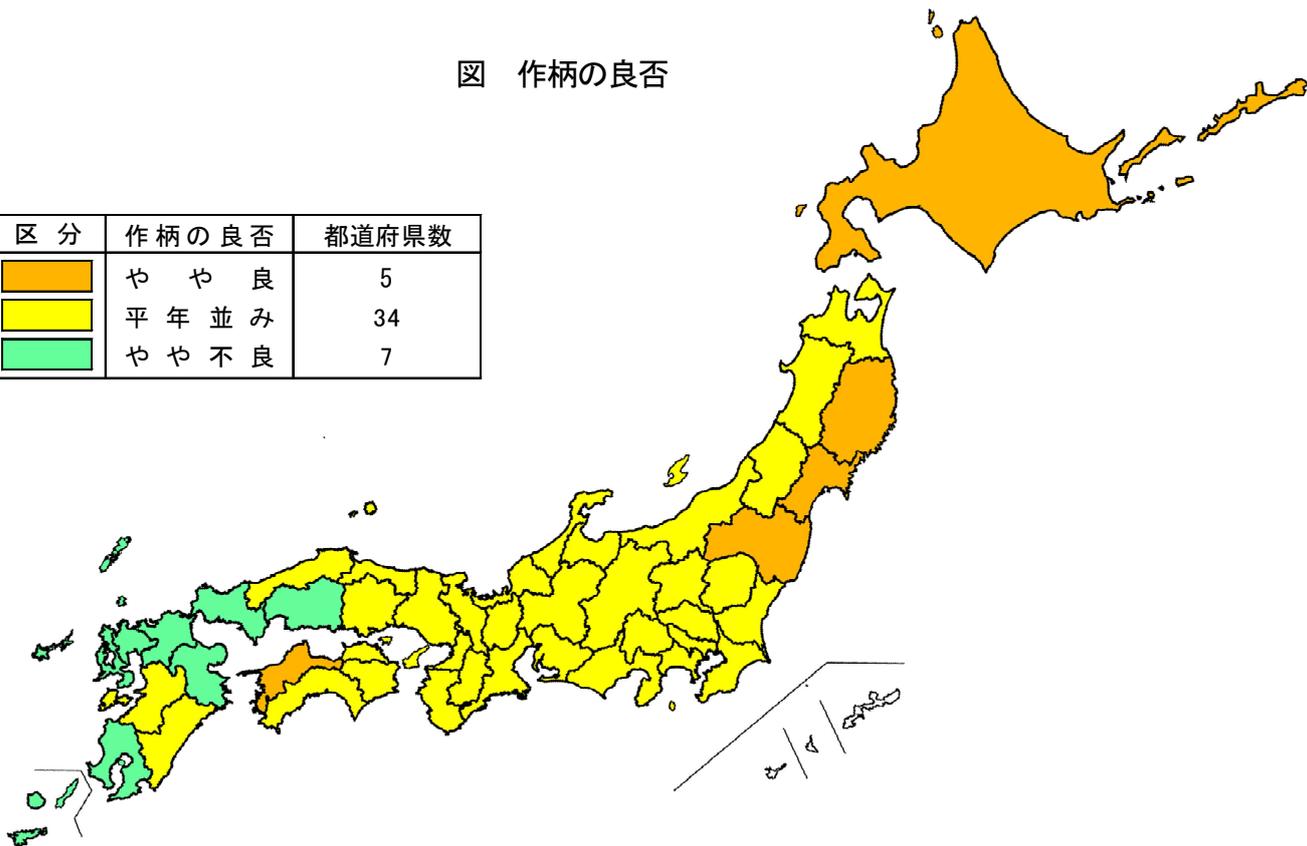
【作柄予測結果の概要】

気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表面温度、日射量、植生指数等）から作成される予測式（重回帰式）に基づき予測した令和5年産水稲の作柄は、「やや良」が5道県、「平年並み」が34都府県、「やや不良」が7県と見込まれる。

これは、田植期以降、おおむね高温・多照で推移し、出穂期までの天候に恵まれた地域がある一方で、6月から7月にかけての梅雨前線や台風第6号による大雨等の影響が見込まれる地域もあるためである。

図 作柄の良否

区分	作柄の良否	都道府県数
	やや良	5
	平年並み	34
	やや不良	7



- 作柄概況（8月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行ったものである。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。
- 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は普通栽培の作柄の良否である。
- 沖縄県の第二期稲は田植終期に達していないため表記していない。
- 作柄の良否は、気象データ及び人工衛星データを説明変数、10a当たり予想収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。なお、10a当たり予想収量は、未確定の要素が多いことから公表していない。
- 作柄の良否の表示区分は、「やや良」が対平年比 105～102%、「平年並み」が 101～99%、「やや不良」が 98～95%に相当する。

◎ 累年データ

水稻（子実用）の年次別推移（全国）

年 産	作 付 面 積 (子 実 用)	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量 (子 実 用)	主 食 用 作 付 面 積	収 穫 量 (主 食 用)	作 況 指 数
	ha	kg	t	ha	t	
平成25年産	1,597,000	539	8,603,000	1,522,000	8,182,000	102
26	1,573,000	536	8,435,000	1,474,000	7,882,000	101
27	1,505,000	531	7,986,000	1,406,000	7,442,000	100
28	1,478,000	544	8,042,000	1,381,000	7,496,000	103
29	1,465,000	534	7,822,000	1,370,000	7,306,000	100
30	1,470,000	529	7,780,000	1,386,000	7,327,000	98
令和元	1,469,000	528	7,762,000	1,379,000	7,261,000	99
2	1,462,000	531	7,763,000	1,366,000	7,226,000	99
3	1,403,000	539	7,563,000	1,303,000	7,007,000	101
4	1,355,000	536	7,269,000	1,251,000	6,701,000	100

資料：農林水産省統計部『作物統計』

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 2 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 4 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、平成26年産以前の作況指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までの作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの使用目幅以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降の作況指数は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040068620&ext=xls>

【調査の概要】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【水稻の作柄予測及び水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

本資料は農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y2

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3682
（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



令和5年11月1日現在で、2023年漁業センサスを実施します。
(流通加工調査については令和6年1月1日現在)

【目次】

統計表

- 1 令和5年産水稻の都道府県別田植及び出穂の状況(8月15日現在) …………… 1
- 2 令和5年産水稻の作柄概況(8月15日現在) …………… 2
- 3 令和5年産水稻の西南暖地における早期栽培等の作柄概況(8月15日現在)
 - (1) 10a当たり予想収量 …………… 3
 - (2) 作柄概況及び刈取済面積割合 …………… 4

利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入している。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数(下から)		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前(原数)	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値(統計数値)	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
「0」： 単位に満たないもの(例：0.4ha→0ha)又は増減がないもの
- 3 この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和5年産水稻の8月15日現在における作柄概況」(農林水産省)による旨を記載してください。
- 4 本調査における作柄概況(8月15日現在)は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行ったため、今後の気象条件等により作柄は変動することがあります。

【統計表】

1 令和5年産水稻の都道府県別田植及び出穂の状況（8月15日現在）

都道府県	田植期					出穂期					出穂済面積割合	
	始期	最盛期	終期	最盛期の比較		始期	最盛期	終期	最盛期の比較		当年値	対平年差
				対平年差	対前年差				対平年差	対前年差		
月日	月日	月日	1日早	1日早	月日	月日	月日	6日早	4日早	%	ポイント	
北海道	5. 18	5. 22	5. 30	1日早	1日早	7. 20	7. 24	7. 31	6日早	4日早	100	0
青森	5. 14	5. 20	5. 29	並み	並み	7. 27	7. 30	8. 3	5日早	4日早	100	0
岩手	5. 12	5. 17	5. 24	並み	並み	7. 28	8. 1	8. 6	3日早	4日早	100	0
宮城	5. 4	5. 12	5. 23	並み	1日遅	7. 26	7. 30	8. 5	3日早	4日早	100	1
秋田	5. 13	5. 21	5. 30	2日早	1日早	7. 26	8. 1	8. 8	2日早	2日早	100	0
山形	5. 13	5. 18	5. 25	1日早	並み	7. 30	8. 3	8. 11	1日早	2日早	99	0
福島	5. 7	5. 15	5. 26	1日早	並み	7. 29	8. 5	8. 13	3日早	5日早	100	5
茨城	4. 28	5. 8	5. 28	1日遅	1日遅	7. 16	7. 26	8. 7	4日早	2日早	99	1
栃木	5. 2	5. 7	6. 13	並み	並み	7. 22	7. 27	…	4日早	4日早	93	3
群馬	5. 21	6. 14	6. 27	1日早	1日早	8. 3	…	…	…	…	45	2
埼玉	4. 29	5. 22	6. 28	並み	並み	7. 19	8. 6	…	4日早	2日早	72	8
千葉	4. 15	4. 27	5. 12	1日早	並み	7. 8	7. 18	7. 31	4日早	2日早	100	0
東京都	5. 23	6. 10	6. 25	並み	並み	8. 1	8. 10	…	3日早	3日早	70	10
神奈川県	5. 17	6. 1	6. 13	1日早	1日早	8. 1	8. 8	…	3日早	2日早	90	5
新潟	5. 4	5. 11	5. 24	並み	1日遅	7. 22	8. 3	8. 12	1日早	1日早	99	1
富山	4. 30	5. 11	5. 24	1日早	並み	7. 13	7. 30	8. 8	3日早	2日早	100	0
石川	4. 28	5. 4	5. 25	1日早	1日早	7. 14	7. 25	8. 4	3日早	1日早	100	0
福井	4. 29	5. 15	5. 24	1日早	並み	7. 9	7. 30	8. 10	2日早	並み	100	2
山梨	5. 11	5. 26	6. 17	2日早	2日早	7. 30	8. 4	…	5日早	2日早	85	7
長野	5. 11	5. 22	6. 2	並み	並み	7. 27	8. 3	8. 13	4日早	2日早	98	3
岐阜	5. 3	5. 28	6. 11	並み	並み	7. 20	…	…	…	…	49	1
静岡県	4. 28	5. 20	6. 12	並み	並み	7. 15	8. 6	…	1日早	1日遅	70	1
愛知県	5. 1	5. 24	6. 10	並み	並み	7. 22	…	…	…	…	45	1
三重	4. 18	5. 1	5. 19	並み	並み	7. 13	7. 21	8. 9	2日早	1日早	98	0
滋賀	5. 1	5. 10	5. 30	並み	1日遅	7. 22	7. 29	8. 14	2日早	並み	95	0
京都	5. 5	5. 22	6. 8	1日早	並み	7. 19	7. 28	…	4日早	3日早	86	4
大阪	5. 17	6. 9	6. 18	1日遅	1日遅	8. 2	…	…	…	…	26	△ 1
兵庫	5. 12	6. 3	6. 15	1日早	並み	7. 26	8. 8	…	2日早	1日早	62	△ 1
奈良	5. 6	6. 8	6. 15	並み	1日遅	7. 31	…	…	…	…	30	0
和歌山	5. 3	6. 4	6. 18	1日早	1日早	7. 19	8. 4	…	2日早	1日早	80	△ 2
鳥取	5. 5	5. 23	6. 6	1日早	並み	7. 25	8. 5	…	3日早	1日早	83	2
島根	5. 1	5. 10	6. 4	4日早	1日早	7. 19	7. 29	…	2日早	並み	90	△ 2
岡山	5. 11	6. 6	6. 21	1日早	並み	7. 30	…	…	…	…	39	0
広島	5. 3	5. 17	6. 3	2日早	2日早	7. 23	8. 4	…	3日早	並み	76	2
山口	5. 9	5. 31	6. 23	1日早	並み	7. 26	8. 8	…	2日早	1日遅	63	2
徳島 (早期栽培)	4. 7	4. 15	5. 5	並み	並み	7. 6	7. 15	7. 23	並み	1日遅	100	0
徳島 (普通栽培)	4. 30	5. 22	6. 12	並み	並み	7. 16	7. 31	…	並み	2日遅	87	1
香川	4. 27	6. 15	6. 30	並み	並み	7. 21	…	…	…	…	42	1
愛媛	4. 24	6. 3	6. 22	並み	並み	7. 17	8. 13	…	1日早	1日遅	58	0
高知 (早期栽培)	4. 3	4. 11	4. 21	並み	並み	6. 21	7. 1	7. 15	1日早	並み	100	0
高知 (普通栽培)	5. 17	5. 27	6. 16	並み	並み	8. 11	…	…	…	…	31	0
福岡	5. 15	6. 16	6. 28	1日早	並み	7. 31	…	…	…	…	35	0
佐賀	5. 29	6. 19	6. 28	1日早	1日早	8. 2	…	…	…	…	26	1
長崎	4. 19	6. 14	6. 27	並み	並み	7. 16	…	…	…	…	17	2
熊本	4. 22	6. 14	7. 3	1日早	並み	7. 13	…	…	…	…	24	0
大分	5. 15	6. 13	6. 28	並み	2日遅	7. 30	…	…	…	…	21	2
宮崎 (早期栽培)	3. 20	3. 26	4. 6	並み	1日早	6. 18	6. 24	7. 1	並み	1日遅	100	0
宮崎 (普通栽培)	5. 28	6. 13	6. 26	2日早	1日早	…	…	…	…	…	4	0
鹿児島 (早期栽培)	3. 24	4. 2	4. 14	1日早	1日早	6. 17	6. 25	7. 10	並み	2日遅	100	0
鹿児島 (普通栽培)	6. 10	6. 18	7. 2	2日早	1日早	…	…	…	…	…	0	0
沖縄 (第一期稲)	2. 10	3. 2	3. 23	5日早	7日早	5. 7	5. 16	6. 5	4日早	3日早	100	0

注：1 田植期及び出穂期の始期、最盛期、終期とは、田植及び出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。

2 沖縄県の第二期稲は田植終期に達していないため表記していない。

3 出穂期の始期、最盛期及び終期の欄の「…」は、8月15日現在でそれぞれの期日に達していないことを示す。

4 出穂済面積割合の対平年差欄の「△」は、平年より少ないことを示す。

2 令和5年産水稲の作柄概況（8月15日現在）

区 分	作柄の良否 (平年比較)	区 分	作柄の良否 (平年比較)
北 海 道	やや良	三 重	平年並み
青 森	平年並み	滋 賀	平年並み
岩 手	やや良	京 都	平年並み
宮 城	やや良	大 阪	平年並み
秋 田	平年並み	兵 庫	平年並み
山 形	平年並み	奈 良	平年並み
福 島	やや良	和 歌 山	平年並み
茨 城	平年並み	鳥 取	平年並み
栃 木	平年並み	島 根	平年並み
群 馬	平年並み	岡 山	平年並み
埼 玉	平年並み	広 島	やや不良
千 葉	平年並み	山 口	やや不良
東 京	平年並み	徳 島 (普通栽培)	平年並み
神 奈 川	平年並み	香 川	平年並み
新 潟	平年並み	愛 媛	やや良
富 山	平年並み	高 知 (普通栽培)	平年並み
石 川	平年並み	福 岡	やや不良
福 井	平年並み	佐 賀	やや不良
山 梨	平年並み	長 崎	やや不良
長 野	平年並み	熊 本	平年並み
岐 阜	平年並み	大 分	やや不良
静 岡	平年並み	宮 崎 (普通栽培)	平年並み
愛 知	平年並み	鹿 児 島 (普通栽培)	やや不良

注：1 作柄の良否は、気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表面温度、日射量、植生指数等）を説明変数、10a当たり予想収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。

2 本表における平年比較の表示区分は、「やや良」が対平年比105～102%、「平年並み」が101～99%、「やや不良」が98～95%に相当する。

3 令和5年産水稻の西南暖地における早期栽培等の作柄概況（8月15日現在）

(1) 10a 当たり予想収量

区 分	10 a 当 たり 予 想 収 量 ①	農家等が使用している ふるい目幅で選別			
		最も多い 使用割合 の目幅 ②	10 a 当 たり 予 想 収 量 ③	10 a 当 たり 平 年 収 量 ④	作 況 指 数 ⑤=③/④
	kg	mm	kg	kg	
徳 島	454	1.80	440	453	97
高 知	484	1.80	475	471	101
宮 崎	487	1.80	479	470	102
鹿 児 島	469	1.80	459	449	102
沖 縄	353	1.80	348	355	98

注：1 西南暖地における早期栽培等（8月中旬頃までに刈取りがおおむね終了する早期栽培の面積割合がおおむね3割以上を占める徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県における早期栽培並びに沖縄県の第一期稲）の作柄概況については、実測調査した結果を集計したものである（(2)の統計表において同じ。）。

2 ①10a 当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 ③10a 当たり予想収量、④10a 当たり平年収量及び⑤作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、②最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

4 沖縄県は第一期稲である（(2)の統計表において同じ。）。

(2) 作柄概況及び刈取済面積割合

区 分	作柄概況 (平年比較)				刈取済面積割合	
	穂数の多少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否	当年値	対平年差
					%	ポイント
徳 島	少 ない	やや多い	やや少ない	平年並み	13	0
高 知	やや多い	多 い	多 い	不 良	78	△ 6
宮 崎	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	98	0
鹿 児 島	やや少ない	やや多い	やや少ない	や や 良	67	△ 11
沖 縄	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	100	0

注：1 本表における平年比較の表示区分は、「多い・良」が対平年比106%以上、「やや多い・やや良」が105～102%、「平年並み」が101～99%、「やや少ない・やや不良」が98～95%、「少ない・不良」が94%以下に相当する。

2 刈取済面積割合の対平年差欄の「△」は、平年より少ないことを示す。